



学園通信

練馬区立大泉学園中学校

校長 杉田 正穂

令和5年5月18日発行

03-3925-4492



運動会に向けて ～自主 誠実 努力～を大切に

校長 杉田 正穂

新緑の季節と共に、ゴールデンウィークも明けて、生徒たちの元気な声に戻ってきました。新型コロナウイルス感染症も5類相当に引き下げられ、徐々に平常な学校生活に近づけていくことができています。これからも保護者、教職員が力を合わせ子供たちが充実した学校教育を受けられますよう、感染防止に気を緩めず活動していきますので、どうぞご理解とご協力をお願い申し上げます。

さて、5月27日(土)に実施する運動会に向けて、今週より全校練習や学年練習が始まりました。実行委員会、係活動もあり、生徒は毎日忙しく動いています。運動会は学校生活において、生徒たちが楽しみにしている特別な行事のひとつです。運動会は生徒たちが自主性を発揮し、真剣に取り組み、最後までやりぬくことができる素晴らしい機会であり、私たち教員も成長していく生徒をみることができ、楽しい行事になっています。

今年の運動会は生徒が自ら考え、自ら判断し行動できるように教員が支援しながら、生徒の力で企画・運営・実施できるようにしています。自分たちで演目を決めて、競技のルールや審判も行い、生徒たちでつくる運動会にしようと準備をしています。

～運動会にむけて大切にしてほしいこと～

① 自主「すすんでおこなう」

今年の学園中運動会は生徒がつくる運動会です。実行委員を中心に生徒会や各種委員会が協力して準備をしています。だからこそ運動会を大成功させてほしいと思います。そのためには一人一人が積極的に取り組んでいかなければなりません。また、自ら考え自ら行動する自主性をもって取り組めば、当日は自信をもって活躍することができます。さらに、自主性は自分の可能性を最大限に引き出すことができると思います。

② 誠実「まごころこめてことにあたる」

クラスの友人を思いやる心が大切です。運動が得意な人、そうでない人、体が大きい人、そうでない人たちがいます。ぜひ、運動が苦手としている人も楽しめる運動会にしてほしいと思います。互いを認め合い、クラスが団結していく中でいろいろな人たちとの力が融合し、大きな力となっていきます。

③ 努力「たくましくやりぬく」

クラスの仲間と力を合わせて優勝を目指して練習をしています。「参加することに意義がある」という言葉は、「最後まで全力で頑張り努力すること」の意味があります。少しでも早く走ろう、少しでも順位を上げようとする努力が大切なのです。必ずしも努力は結果に結びつかないかもしれませんが、最後まであきらめずに頑張ることは自分を成長させてくれます。勝利や結果だけに拘らず努力を重ねることによって得られる喜びも味わってほしいと思います。

【保護者・地域の皆様】

令和5年度 第61回運動会を5月27日(土)に開催いたします。運動会実行委員会が決めたスローガンは「百花繚乱」～互いの色を开花させよう！～ になりました。「たくさんの人々がいろいろな才覚を発揮させて運動会を大成功させよう」という思いが込められています。自主的に行動し、素直な気持ちで応援し、最後までやり抜く力のある学園中生を見つけることができる運動会になると思います。ご多用のこととは存じますが、真剣に取り組み、最後まであきらめずに競技にむかう力強い勇姿を是非ご覧ください。

